

二級水系
流域治水プロジェクト

黒瀬川水系流域治水プロジェクト【位置図】
～中上流部において市街化の進む黒瀬川水系における流域治水～

令和5年度版
中央ブロック

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていること、黒瀬川流域において市街化が進み土地利用形態が大きく変化していること等を踏まえ、流域の関係者が協働して総合的な治水対策を実施することで浸水被害の解消を図る。
○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
○氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

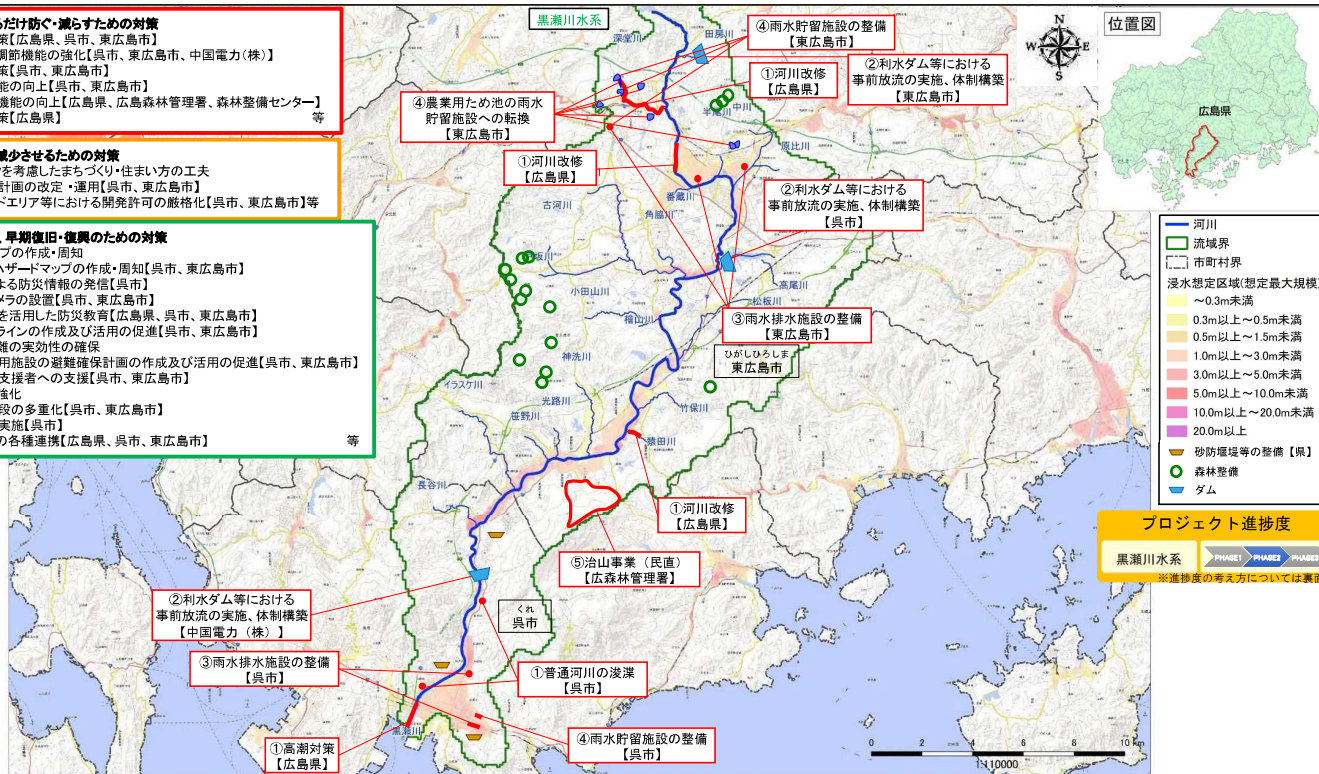
- ①洪水氾濫対策【広島県、呉市、東広島市】
②ダムの洪水調節機能の強化【呉市、東広島市、中国電力（株）】
③内水氾濫対策【呉市、東広島市】
④雨水貯留機能の向上【呉市、東広島市】
⑤山地の保水機能の向上【広島県、広島森林管理署、森林整備センター】
⑥土砂流出対策【広島県】等

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
・立地適正化計画の改定・運用【呉市、東広島市】
・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【呉市、東広島市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【呉市、東広島市】
・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】
・河川監視カメラの設置【呉市、東広島市】
・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市、東広島市】
・マイ・タイムラインの作成及び活用【呉市、東広島市】
⑨高齢者等避難の実効性の確保
・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用【呉市、東広島市】
・避難行動要支援者への支援【呉市、東広島市】
⑩防災体制の強化
・情報伝達手段の多重化【呉市、東広島市】
・水防訓練の実施【呉市】
・関係機関との各種連携【広島県、呉市、東広島市】等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

二級水系
流域治水プロジェクト

黒瀬川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】
～中上流部において市街化の進む黒瀬川水系における流域治水～

令和5年度版
中央ブロック

- 黒瀬川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	高潮対策		河川改修
		呉市、東広島市	河道掘削【東広島市】・浚渫【呉市、東広島市】		
	②ダムの洪水調節機能の強化	呉市、東広島市、中国電力（株）	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築【三永ダム、田房ダム、二級ダム】		
		呉市、東広島市	雨水排水施設の整備【呉市、東広島市】 雨水排水施設の長寿命化、耐水化【呉市】		
	③内水氾濫対策	呉市、東広島市	農業用水利施設の整備		
		呉市	雨水貯留施設の整備【呉市、東広島市】		
	④雨水貯留機能の向上	呉市、東広島市	農地等の保全		
		東広島市	貯留施設の低水位管理等		
		東広島市	農業用ため池の雨水貯留施設への転換		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県、広島森林管理署、森林整備センター	森林整備、治山事業		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	広島県	砂防堰堤等の整備		
		呉市、東広島市	防災指針策定		
	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、東広島市、（広島県）	立地適正化計画の改定・運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市、東広島市	開発許可の厳格化済		
		呉市、東広島市	洪水ハザードマップ作成済【呉市、東広島市】		
	⑩防災体制の強化	広島県、呉市、東広島市	内水ハザードマップ作成【呉市】		
		広島県、呉市、東広島市	内水ハザードマップ作成済【東広島市（西条、寺家排水区）】		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階

PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階

PHASE3 流域で流量を分担するなど、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

二級水系
流域治水プロジェクト

高田川水系・大長川水系・原田川水系・原下川水系
・小原川水系流域治水プロジェクト【位置図】
～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

令和5年度版
中央ブロック

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策
②ダム等の洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
③内水氾濫対策【呉市】
④雨水貯留機能の向上【呉市、大崎上島町】
⑤山地の保水機能の向上【広島県】
⑥土砂流出対策【広島県】

等

■被害対象を減少させるための対策

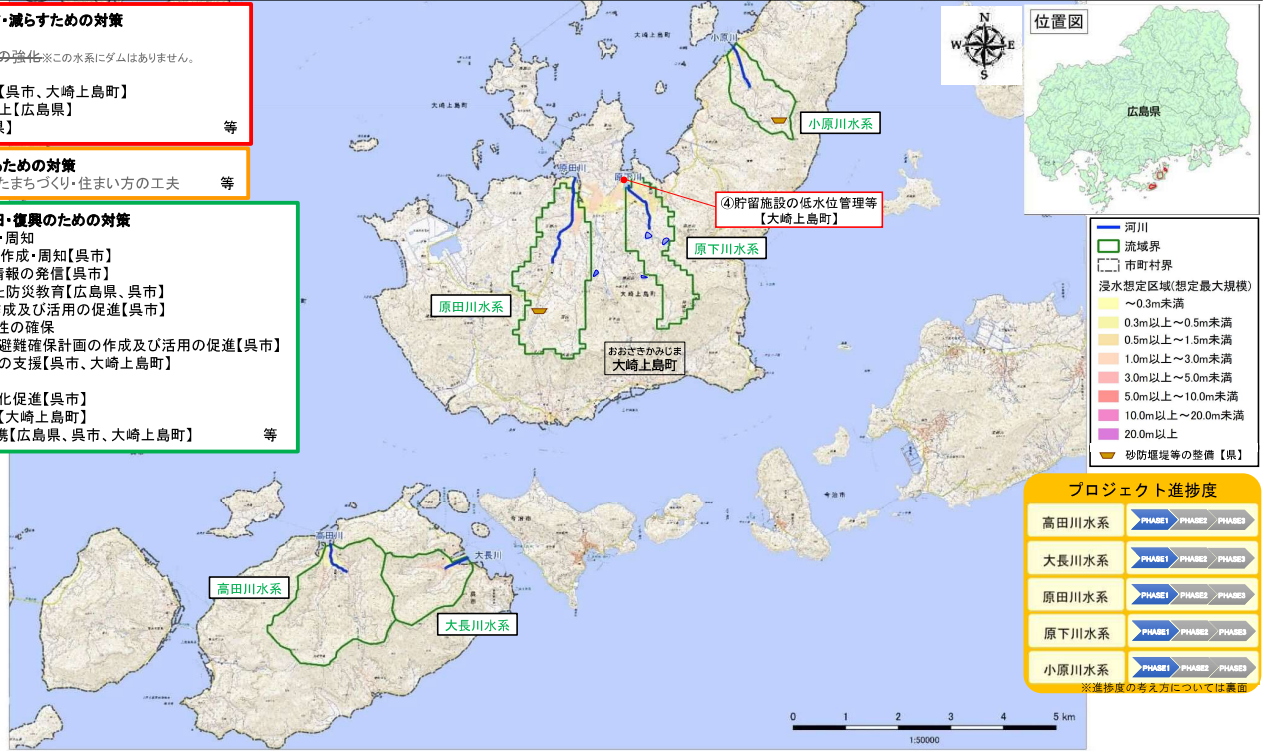
- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫

等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
・洪水ハザードマップの作成・周知【呉市】
・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】
・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市】
・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市】
⑨高齢者等避難の実効性の確保
・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市】
・避難行動要支援者への支援【呉市、大崎上島町】
⑩防災体制の強化
・情報伝達手段の多重化促進【呉市】
・防災拠点の浸水対策【大崎上島町】
・関係機関との各種連携【広島県、呉市、大崎上島町】

等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

二級水系
流域治水プロジェクト

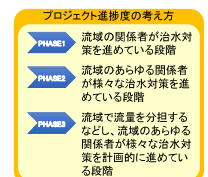
高田川水系・大長川水系・原田川水系・原下川水系
・小原川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】
～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

令和5年度版
中央ブロック

- 高田川・大長川・原田川・原下川・小原川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市町、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	③内水氾濫対策	呉市	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	呉市、大崎上島町	農地等の保全		
		大崎上島町	貯留施設の低水位管理等		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
	⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、 (広島県)	洪水ハザードマップ作成済【呉市】	出前講座等にて周知	
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、呉市、大崎上島町	関係機関との各種連携		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



二級水系
流域治水プロジェクト

二河川水系・堺川水系・大谷川水系流域治水プロジェクト

令和5年度版
中央ブロック

【位置図】

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。

○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。

○氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。

○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

①洪水氾濫対策【広島県、熊野町】

②ダム洪水調節機能の強化【呉市】

③内水氾濫対策【呉市、熊野町】

④雨水貯留機能の向上【呉市】

⑤山地の保水機能の向上【広島県】

⑥土砂流出対策【広島県】

■被害対象を減少させるための対策

⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫

・立地適正化計画の策定（改定）・運用【呉市、熊野町】

・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【呉市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

⑧ハザードマップの作成・周知

・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【呉市、熊野町】

・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】

・河川監視カメラの設置【呉市】

・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市、熊野町】

・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市、熊野町】

⑨高齢者等避難の実効性の確保

・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市、熊野町】

・避難行動要支援者への支援【呉市、熊野町】

⑩防災体制の強化

・情報伝達手段の多重化促進【呉市、熊野町】

・水防訓練の実施【呉市】

・防災拠点の浸水対策【呉市、熊野町】

・関係機関との各種連携【広島県、呉市、熊野町】

位置図

河川
流域界
市町村界
浸水想定区域(想定最大規模)
～0.3m未満
0.3m以上～0.5m未満
0.5m以上～1.5m未満
1.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10.0m未満
10.0m以上～20.0m未満
20.0m以上
砂防堰堤等の整備【呉市】
ダム

プロジェクト進捗度

二河川水系 PHASE1 PHASE2 PHASE3

堺川水系 PHASE1 PHASE2 PHASE3

大谷川水系 PHASE1 PHASE2 PHASE3

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

二級水系
流域治水プロジェクト

二河川水系・堺川水系・大谷川水系流域治水プロジェクト

令和5年度版
中央ブロック

【ロードマップ】

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

○二河川・堺川・大谷川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市町、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(二河川、大谷川) → 河川改修(二河川、堺川)		
		熊野町	普通河川の改修、浚渫		
	②ダムの洪水調節機能の強化	呉市	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(本庄ダム)		
	③内水氾濫対策	呉市	雨水排水施設の長寿命化(二河川水系、堺川水系)、整備・耐水化(大谷川水系)		
		呉市、熊野町	農業用水利施設の整備【呉市】 → 農業用水利施設の整備【熊野町】		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	広島県	砂防堰堤等の整備		
			防災指針策定		
		呉市、熊野町	立地適正化計画の策定・運用(熊野町)		
		呉市	立地適正化計画の改定・運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、熊野町、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済【呉市、熊野町】		
			内水ハザードマップ作成【呉市】		
			出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市、熊野町	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、呉市、熊野町	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階

PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階

PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。

○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。

○氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。

○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

①洪水氾濫対策【広島県、竹原市、東広島市】

②ダムの洪水調節機能の強化【広島県、東広島市】

③内水氾濫対策【呉市、竹原市】

④雨水貯留機能の向上【呉市、竹原市、東広島市】

⑤山地の保水機能の向上【広島県、森林整備センター】等

⑥土砂流出対策【広島県】

■被害対象を減少させるための対策

⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫

・立地適正化計画の改定・運用【呉市、竹原市、東広島市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

⑧ハザードマップの作成・周知

・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【呉市、竹原市、東広島市】

・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】

・河川監視カメラの設置【東広島市】

・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市、竹原市、東広島市】

・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市、東広島市】

⑨高齢者等避難の実効性の確保

・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市、竹原市、東広島市】

・避難行動要支援者への支援【呉市、東広島市】

⑩防災体制の強化

・情報伝達手段の多重化促進【呉市、東広島市】

・水防訓練の実施【呉市】

・関係機関との各種連携【広島県、呉市、竹原市、東広島市】等

位置図

河川
流域界
市町村界
浸水想定区域(想定最大規模)
～0.3m未満
0.3m以上～0.5m未満
0.5m以上～1.5m未満
1.0m以上～3.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10.0m未満
10.0m以上～20.0m未満
20.0m以上
砂防堰堤等の整備【県】
森林整備
ダム

プロジェクト進捗度

木谷郷川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
賀茂川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
高野川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
蛇道川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
三津大川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3

※進捗度の考え方については裏面

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 木谷郷川・賀茂川・高野川・蛇道川・三津大川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(賀茂川) 河道拡幅、護岸整備(三津大川)		
		竹原市、東広島市	普通河川の改修【竹原市(左屋川・山田川)】 普通河川の改修、深溪【竹原市、東広島市】		
	②ダムの事前放流等の体制構築、実施	広島県、東広島市	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(千丈ヶ原ダム、仁賀ダム)		
	③内水氾濫対策	竹原市	雨水排水施設の整備【竹原市(賀茂川水系)】		
		呉市	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	呉市、竹原市、東広島市	雨水貯留施設の整備【竹原市】、貯留施設の低水位管理等【東広島市】、農地等の保全		
被害対象を減少させるための対策	⑤山地の保水機能の向上	広島県、森林整備センター	森林整備、治山事業		
	⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市、竹原市、東広島市	防災指針策定 立地適正化計画の改定・運用		
			洪水ハザードマップ作成済【呉市、東広島市】		
	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、竹原市、東広島市、(広島県)	洪水・内水ハザードマップ作成 出前講座等にて周知		
			要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市、竹原市、東広島市	関係機関との各種連携		
	⑩防災体制の強化	広島県、呉市、竹原市、東広島市	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階

PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階

PHASE3 流域で流量を分担するなど、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

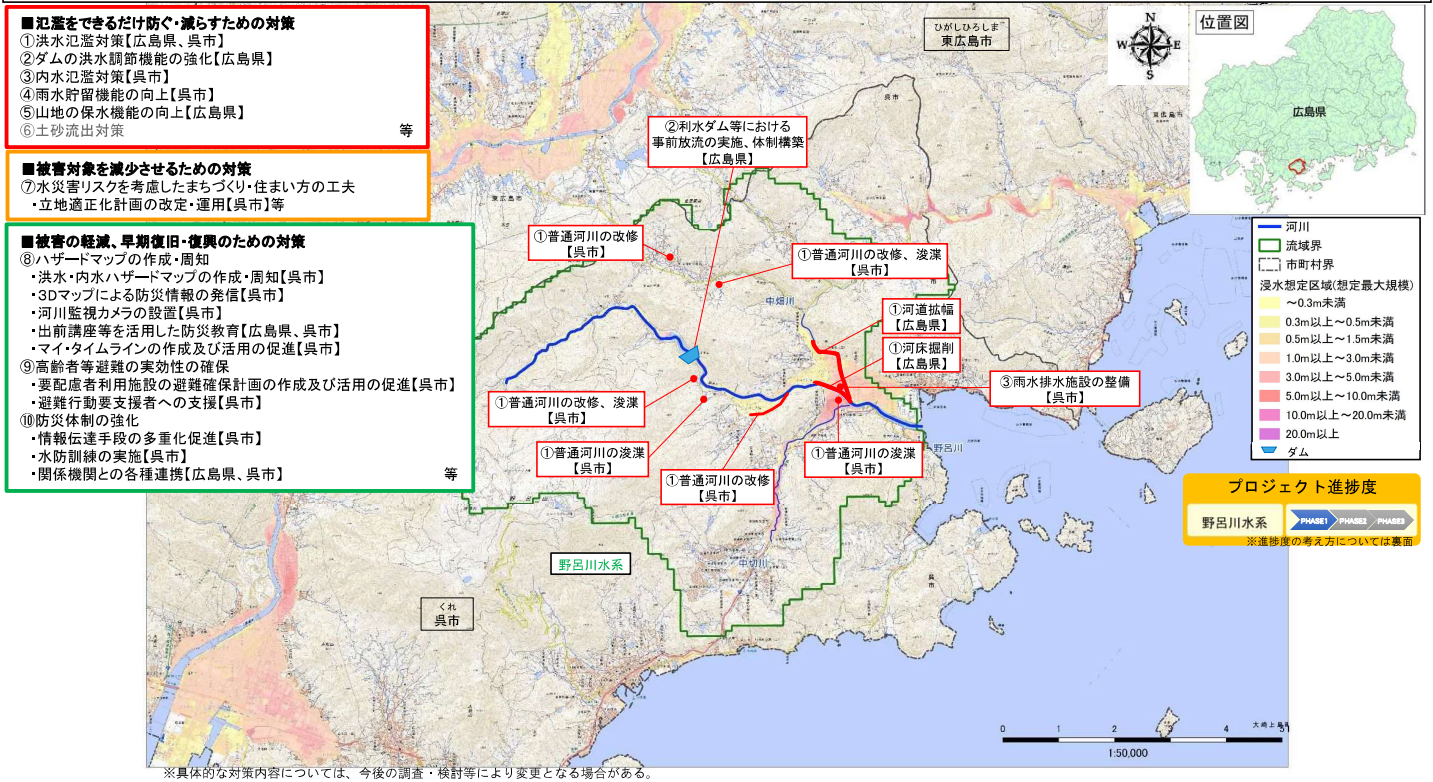
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。

○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。

○氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。

○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。



○野呂川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河床掘削(野呂川)		河道拡幅(中畑川)
		呉市			普通河川の改修、浚渫
	②ダムの洪水調節機能の強化	広島県	操作規則の変更済(野呂川ダム)	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(野呂川ダム)	
		呉市		雨水排水施設の整備、耐水化	
	③内水氾濫対策	呉市	農業用水利施設の整備		
被害対象を減少させるための対策	④雨水貯留機能の向上	呉市			農地等の保全
	⑤山地の保水機能の向上	広島県			森林整備、治山事業
	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市	防災指針策定		立地適正化計画の改定・運用
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済		出前講座等に周知
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市	内水ハザードマップ作成	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用促進	
	⑩防災体制の強化	広島県、呉市			関係機関との各種連携

気候変動を踏まえた、更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階

PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階

PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。